

# 活動レポート

## 技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会幹事長 木本光則

### 技術士とのふれあい、学生から社会人への第 1 歩 「技術士を知ろう！ in 北海学園大学 3 年生編」

#### 1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)の「技術士を知ろう！」第 6 弾は、平成 20 年度より 10 年連続でお邪魔している北海学園大学の 3 年生を対象に実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て実施しています。

#### 2. 実施概要

開催日時：H 29.11.10(金) 12:40 ~ 15:00

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等  
技術士の仕事内容と役割(講演 2 編)  
土木全般の仕事紹介  
座談会「技術士と話そう！」

対象者：北海学園大学 社会環境工学科  
3 年生 43 名

参加幹事：小澤、西村、源野、千葉、木本(記)  
(ミライ研 5 名)  
須田、高橋、藤井、斉藤(青技交 4 名)

#### 3. 技術士資格の説明、制度概要等

小澤代表より、技術士資格の説明として技術士の



写真-1 冒頭の概説を行う小澤代表と自身の進路等を意識して聴講する学生さんたち

役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

自身の資格取得歴や会社での処遇等も交えた説明で、就職活動を目前に控えた 3 年生にとって、自分の進路等を考えるいい機会になったようです。

#### 4. 技術士の仕事内容と役割

##### (1) 技術士の仕事(西村技術士)

学園大 OB でもある西村技術士からは、「橋梁メーカーの仕事」と題し、所属する日本高圧コンクリート(株)で橋梁の設計から施工まで携わっている自身の経験や、二次元解析ではわからない“ひび割れ”等を三次元 FEM 解析で検討するという技術的な取り組み等について、写真やイラストを用いてわかりやすく講演しました。今年で 3 年連続の講演となった西村技術士の講演は安定感があり、OB ならではの空気感に学生たちは熱心に耳を傾けていました。

##### (2) 技術士の仕事(高橋技術士)

続いて(株)ドーコンに所属する高橋技術士から、自身の担当してきた道路計画・設計、特に交通安全分野の仕事概要を紹介するとともに、交通課題や利用者ニーズを把握した上で計画を立案する重要性について、実例を交えて講演しました。JABEE 制度を活用し、28 歳という全国最年少で技術士を取得したという点や、若くして主体的に仕事に取り組んでいる点が、卒業後に JABEE 制度で修習技術者になれる学生さんたちにとって、身近な事例として心に残ったようです。

### (3) 土木の仕事全般の紹介

講演最後は青年技術士交流委員会幹事長の須田技術士から、2人の講演で紹介しきれなかった土木の仕事全般について写真を中心に紹介。様々な仕事があることを知ってもらい、学生たちが自分の将来を考える機会になれば、と考えて用意、説明。学園大OBとして写真の裏話等も追加し、熱く語りかけた説明は、学生さんが自分たちの「ミライ」を考えるきっかけにしていただけたようです。

## 5. 質疑応答

他校での実施と同様、質疑応答は各プレゼン終了後に学生の皆さんから各プレゼンターに対しての質問を記入していただき、そのうち何問かを抽出して回答する形で実施しています。

学園大OBの源野技術士の進行で実施した今回は、「PC(プレストレスト・コンクリート)を使うメリットは？」や「地域住民との連携時のトラブルはないか？」等の技術的な質問や、「なぜその分野の仕事を選んだのか」、「この業界の将来的な変化は？」といった進路に関する質問も多く寄せられました。それぞれ参加幹事から丁寧に回答し、何より自分たちが楽しんでいるという空気や業界の魅力、楽しさが学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

## 6. 座談会「技術士と話そう！」

講演終了後は約30分間の時間を取り、より詳しく質疑等を行える座談会「技術士と話そう！」を実施しました。平成27年度より取り組み3年目になった今年からは内容等をさらに更新。筆者の進行で、参加幹事メンバーがキャリアアップ時に考えたこと、学生さんの「10年後の自分」をテーマに、懇話形式での開催としました。

講演とは異なる懇話形式としたことで、参加幹事と学生さんとの距離が近くなり、より深く、詳しい話ができ点が、学生さんにもよかったようです。

## 7. まとめ

学生からの感想には「技術士の資格の重要性を知ることが出来た。」、「技術士の資格はきっと将来の

自分の可能性を広げると感じさせていただける講演でした。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケートでは、35人中30人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、37人中32人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また「これからの道について考えられるいい機会だと思いました。就職した後のどういう仕事なのかなどイメージがつかしました。」、「3年生の夏休み後に土木が面白いなと思いはじめていましたが、今回の講演会でやはり土木は面白いと改めて思いました。」といった感想もいただきました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でともに4.7と学生に高評価だったのも一因だったのでは、と考えています。



写真-2 座談会の様子1(中央が須田技術士、左側が斉藤技術士補、藤井技術士補)



写真-3 座談会の様子2  
(左が西村技術士、右が高橋技術士)